

人材育成の現場から



岐阜県立森林文化アカデミー

みのしそだい
岐阜県美濃市曾代 修学期間：2年間

定員：森と木のエンジニア科(高校卒業程度) 1学年20名(以下「エンジニア科」という。)

森と木のクリエイター科(22歳以上) 1学年20名(以下「クリエイター科」という。)

岐阜県立森林文化アカデミーは、「森と人との共生」を基本理念とし、岐阜県の広大な森林と豊かな自然を実践の場として21世紀の循環型社会を創る人材を育成するため、平成13年に開校した専修学校です。専修部門は2科に分かれており、クリエイター科は、体系的科学・技術を基礎とした現場における指導的役割を担う人材の供給を担う高等専修教育部門であり、エンジニア科は、多様な森林・林業の現場において、安全な作業条件を自ら確立しつつ、より経済性の高い生産を担う技術者の供給を行う一般専修教育部門です。

今回のテーマ「木材利用」ですが、当アカデミーでは、「川上」から「川下」まで森林資源の流れを実感しながら林業を学んでいます。校舎のすぐ後ろに広がる33haの演習林で、造林、保育を行い、計画的に伐採した木を搬出し、校内にある製材棟で製材加工し、製材した材を自力建設や木材製品に使うなど一連の流れを体験します。エンジニア科は1年生の時に森づくりや、樹木の生態、林業機械の基礎とともに流通や木材利用の基礎を学び、2年生になると林業コースと林産業コースに分かれ、林産業コースでは、木材の性質等、付加価値を意識し、木材建築・製品加工・流通・品質管理を学んでいます。クリエイター科には、木材利用分野として、木造建築専攻と木工専攻があり、「木造」建築に特化した設計や地域材に付加価値をつけるための木工技術を学んでいます。昨年度完成した森林総合教育センターmorinosでは、学生たちが伝統的伐採技術である三ツ緒伐り(※)で、伐採、搬出した演習林の100年生ヒノキ丸太をシンボルとして使用しています。

(※)三ツ紐伐りともいい、斧だけで3方向から立木を伐り進め、定められた方向に倒す古来からの伐採方法。



「林産業コース」木取りを考え、製材機を操作



「木造建築専攻」令和元年度自力建設 Coboki ～簡易製材小屋～



「木工専攻」木製お弁当箱の制作、販売



森林総合教育センター morinos
(手前のVの材が演習林の100年生のヒノキ)

人材育成の現場から



高知県立林業大学校

かみしとさやまだちょう
高知県香美市土佐山田町 修学期間：1年間

定員：基礎課程20名、専攻課程30名（森林管理、林業技術、木造設計各コース10名）

高知県立林業大学校は、森林率日本一の高知県の林業を担う人材を育てることを目的として平成27年4月に先行開校し、平成30年4月には世界的な建築家の隈研吾氏を初代校長に迎えるとともに、専攻課程を加えて本格開校しました。

本校の特徴の一つとして、林業の川上分野にとどまらず、川下での木材利用の拡大を図るために、林業大学校としては全国でもまれな建築のコースを設置していることがあります。

この「木造設計コース」では、木造住宅から中大規模木造までの設計技術を習得した木造建築のプロデューサーを養成することを目的としており、林業コースと一緒に造林学実習なども行うことで、木材についての理解を深めます。

建築の専門講座においては、各分野の第一人者の先生方や、高知県内で伝統木造や最先端のCLT建築を手がける設計者の講義を通じて、幅広く実践的な知識を身につけることができます。木造建築を専門に学ぶことのできる学校は大学でも数少ないですが、本校では木材ならではの強度特性や腐朽耐久性、遮音防音や耐火性などはもちろん、木質構造学や木造建築の歴史についても系統的に学ぶことのできるカリキュラムとなっています。また、隣接する高知県立森林技術センターの協力のもと、研修生が自力製作した耐力壁のせん断破壊試験や各種の材料試験ができるのも本校ならではの環境です。そして1年間を通じて建築を学び、最後に取り組み卒業設計課題では、最も優れた作品に対して隈研吾賞が授与されます。

今年度で開講3日目となる木造設計コースでは、高知県内外から高校を卒業したばかりの若者から建築の実務経験を持つベテランの方まで、5名の方が学んでいます。卒業生の進路は、設計事務所や施工会社がほとんどですが、なかには隈研吾校長のもとで頑張っている方、木材コーディネートに携わっている方など多様な人材が育っています。これからも木造建築に関わる様々な分野で活躍できる人材を育成し、木材利用の裾野を広げ、林業、木材産業の成長産業化の実現に貢献してまいります。



木造耐火講座での焼きスギ板作り



森林技術センターでの耐力壁試験



木造建築設計講座での模型製作実習



木造建築現場の見学